

特定外来生物 ウチダザリガニ報告

はじめに

今年度は昨年に引き続きレイクウッド沼のウチダザリガニの調査・駆除を目的とした活動をした。昨年のコカナダモの駆除がウチダザリガニにどのように影響するのか推移をみることにした。

今年度はまた観光協会主催の「ウチダザリガニグランプリ」企画の中で児童・保護者参加で諸橋美術館脇「食堂モリモリ」さんの道路下駐車場にて砂川光朗講師による「特定外来生物ウチダザリガニって何？」を共催した。

調査日

平成29年6月18日・8月3日・20日・9月27日

調査方法

曲沢沼上流域の沢沿いの沼

調査範囲

沼の淵（ペンションとも）より4か所

考察

レイクウッド沼が昨年、コカナダモを駆除したので、どう変化していくのかを調査を継続していかなければいけない。来年度は沼の水抜きの話も出ているので、どのように展開するのか期待したい。10月の終わりに抱卵状態の様子を確認したかったのだが、NPO設立等で思うようにできなかったのが心残りであった。小野川湖・桧原湖もどの程度少なくなってきたのかも再確認する必要がある。駆除活動を継続しながら、このモニタリングを始めたころのデータと比較し、裏磐梯のウチダザリガニの生息状況について把握することに努めたい。なお今年度は、裏磐梯観光協会が8月に少しの期間ウチダザリガニプログラムを実施したが、人員等の欠員もあってほとんど実施できなかった点、また曲沢での個体の減少傾向の点、も落ちだし禁止の看板の件等話し合っていきたいと思う。

調査者

真野真理子 友坂洋子 鈴木正代